

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保健センター維持管理事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 母子保健担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	1987(S62)年度			年度	~	年度まで							
根拠法令等	枚方市保健所条例・枚方市保健所条例施行規則												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	保健センターを利用する市民											
	サブターゲット	保健センター職員											
	ターゲットが抱える課題	健康に関する様々なニーズで保健センターを利用するため、適正に設備・建物の管理をする必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心して安全快適に保健センターを利用できる。												
事業概要	保健センターにおける各種事業が円滑に行われるよう設備・建物を適正に管理する。 施設管理に関する委託事業：・清掃委託 ・警備委託 ・冷暖房設備保守点検委託 ・自家発電設備保守点検委託・環境測定業務委託 ・防災設備保守点検委託 ・受水槽、高架水槽清掃委託 その他												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						保健センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検実施件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	53	53	53	53
	実績					86				53			
	達成度					86%				100%			
	分析					概ね予定していた工事と修繕を行った。				予定していた保守点検が実施できた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,725	5,612	4,785	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	1,110	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	5,725	5,612	5,895	
	物件費計	45,045	54,199	97,651	105,999	92%
	歳出計	50,770	59,811	103,546		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	27,300	31,500	
	その他	16,301	16,074	4,528	4,762	
	歳入計	16,301	16,074	31,828	36,262	
	一般財源	34,469	43,737	65,823	69,737	

5. 総括的分析

総括的分析	保健センターは、開設から30年以上が経過し、建物・各種設備が老朽化し、維持管理の労力や工事・修繕費用が増加している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後は、建物保全計画に基づいて、改修・更新し、随時不良箇所については修繕で対応し、維持管理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	予防接種事業										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 母子保健担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち									
	実行計画名	7-1.感染症対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1951 (S26) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	予防接種法				
関係補助金名称	定期予防接種(A類疾病)補助金 定期予防接種(B類疾病)補助金 定期接種再接種費用補助金 風しんワクチン等接種事業補助金 高齢者肺炎球菌ワクチン接種補助金			サンセット	2017 (H29) 年度 ～ 2019 (R1) 年度
関係附属機関名称	予防接種健康被害調査会				
事業対象	メインターゲット	予防接種対象の市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	感染症の発症リスクを持つ			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切に疾病を予防することができ、公衆衛生の向上・健康増進が図られる。				
事業概要	<p>①定期A類予防接種(B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、4種混合、3種混合、ポリオ、麻しん・風しん混合(MR)、2種混合、日本脳炎、子宮頸がん予防ワクチンに加え、令和元年度から風しんの抗体を持たない男性に対する風しん5期予防接種を開始)委託医療機関にて通年実施。費用:無料。</p> <p>②定期B類予防接種(高齢者インフルエンザは10月1日～翌年1月末まで、高齢者肺炎球菌は通年で委託医療機関にて実施。自己負担:インフルエンザワクチン1,500円、肺炎球菌ワクチン2,000円(免除制度あり)。</p> <p>③任意予防接種:高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成。助成額:3,500円。風しん対策として風しん抗体検査で抗体を保有しない人に対し、風しんワクチン、麻しん風しん混合(MR)ワクチン接種費用の公費助成。自己負担額:風しんワクチン1,000円、麻しん風しん混合(MR)ワクチン3,000円。</p> <p>④予防接種費用償還:取り扱い医療機関以外で接種した場合、償還払い制度あり。</p> <p>⑤予防接種再接種費用の助成。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	対象者が定期A類予防接種を受ける。				インプット (活動)	定期A類予防接種事業を実施する。			
	指標説明					MR1期(麻しん・風しん含む)の接種率 【算出式:接種者数÷対象者数×100】					予防接種実施個所数(令和元年134箇所)				
指標設定	指標種類	単位				単位	%			単位				箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					95	95	95	95	134	134	134	134		
	実績					97				128					
達成度					102%				96%						
分析					目標は、達成することができた。				取り扱いの医療機関数は、概ね確保できている。						
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	対象者が定期B類予防接種を受ける。				インプット (活動)	定期B類予防接種事業を実施する。			
	指標説明					高齢者インフルエンザ予防接種接種率 【算出式:接種者数÷対象者数×100】					予防接種実施個所数(令和元年218箇所)				
指標設定②	指標種類	単位				単位	%			単位				箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					50	50	50	50	218	218	218	218		
	実績					66				212					
達成度					132%				97%						
分析					新型コロナウイルス感染症対策としてインフルエンザ予防接種費用を無償化したこともあり、接種率が上がった。				取り扱いの医療機関数は、概ね確保できている。						

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		対象者が任意予防接種を受ける。	任意予防接種への補助事業を実施する。
指標設定③	指標説明	風しん抗体検査で抗体価が低いとされた人の予防接種率 【算出式: 接種者数 ÷ 対象者数(抗体価が低いとされた人) × 100】	風しん対策事業の実施箇所数(令和元年120箇所)
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位	単位
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	100 100 100 100	120 120 120 120
	達成度	77	136
	分析	77%	113%
		予防接種が必要な方の2割以上が受けていない状況がある。	取り扱いの医療機関数は、概ね確保できている。

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	23,614	30,865	28,710	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	894	1,083	888	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	47	
		人件費計	24,508	31,948	29,645	
	物件費計	932,050	949,755	1,113,614	1,228,899	91%
歳出計		956,558	981,703	1,143,259		
歳入	国庫支出金	1,956	18,193	46,494	48,502	
	府支出金	14,184	12,659	108,948	108,693	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	16,140	30,852	155,442	157,195	
一般財源		940,418	950,851	958,172	1,071,704	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍ではあったが、予防接種の接種率の減少はなく、概ね目標は、達成できている。風しん対策事業は、令和3年度が最終年度となるため、抗体検査未実施者、未接種者への周知が必要である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	関係機関とも連携し接種しやすい環境を整えるとともに、予防接種についての啓発活動を継続実施し、接種率の向上を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	妊産婦健康診査事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 母子保健担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち										
	実行計画名	14-1.母子の健康づくりの推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1997 (H9) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	母子保健法				
関係補助金名称	妊婦健康診査補助金 産婦健康診査補助金		サンセット	2020 (R2) 年度	~ 2022 (R4) 年度
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	全ての妊産婦
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	妊産婦の健康診査は自費診療であるため、経済的負担がある。予期せぬ妊娠等により経済的にゆとりがない場合、受診が遅れたり受診回数を減らざるを得なくなる恐れがある。中でも多胎妊娠は、母体への負担と出産前後の合併症のリスクが高く、多胎児は単胎児に比べて低出生体重児や障害児となるリスクが高い。そのため、妊娠管理が重要であることから妊婦健康診査の回数が増える。さらに、準備する育児用品が多く、長期入院等で予定外の出費が発生することもあり、単胎よりも経済的負担がある。
	ターゲットが抱える課題	産後の母体や生活の変化により、心身に不調をきたす恐れがある。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	妊娠中から母体管理を行うことで安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。
---------------------------	--

事業概要	妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊婦健康診査受診券14枚、産婦健康診査受診券2枚、妊産婦歯科健康診査受付票1枚を交付。妊婦健康診査は平成25年度から助成額を増額した(1回目24,780円、4回目9,820円、8回目17,340円、10回目8,140円、12回目11,400円、他5,040円。合計116,840円)。健診内容は、国基準に準ずる。産婦健康診査は、平成29年10月より開始している(1回あたり上限5,000円。合計10,000円)。国の母子保健医療対策総合支援事業(母子保健衛生費国庫補助金)として実施し、健診内容は国の要綱に基づく。母体の健康管理のみならず、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の整備を図る。妊婦健康診査及び産婦健康診査は、大阪府及び京都府内の医療機関、助産所において健康診査受診時に受診券の金額分を助成する。また委託医療機関以外での受診分については償還する。妊産婦歯科健康診査は、妊娠中から産後1年未満の間に枚方市内委託歯科医療機関で無料実施。
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。	妊産婦が経済的不安を感じることなく受診できる。	妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊婦健康診査受診券を配付する。										
指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けられた」と感じる人の割合	妊婦健康診査受診件数	母子健康手帳別冊(産婦健康診査受診券等の綴り)配付件数										
指標設定	単位	%	単位	件	単位	件							
	指標種類	増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	91	93	95	97	31,500	30,600	29,900	29,400	2,849	2,773	2,715	2,676
	実績	88				30,231				2,734			
達成度	97%				96%				96%				
分析	概ね達成できた。				妊娠届出数が見込み(2,627人)よりも下回った(2,509人)ため、受診者数も見込みより少なくなっている。				妊娠届出数が見込み(2,627人)よりも下回った(2,509人)ため、母子健康手帳別冊配付数も見込みより少なくなっている。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				対象者が産婦健康診査を受ける。				産婦健康診査の実施により医療機関等との連携を深め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。			
指標設定②	指標説明	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けられた」と感じる人の割合				産婦健康診査受診件数				母子健康手帳別冊(産婦健康診査受診券等の綴り)配付件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	91	93	95	97	5,109	4,825	4,665	4,509	2,849	2,773	2,715	2,676
	実績	88				3,947				2,734			
	達成度					77%				96%			
	分析	概ね達成できた。				出生数が見込み(2,903人)よりも大きく下回った(2,406人)ため、受診者数も見込みより少なくなっている。				妊娠届出数が見込み(2,627人)よりも下回った(2,509人)ため、母子健康手帳別冊配付数も見込みより少なくなっている。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.07
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.09
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,813	16,595	16,933	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	367	320	338	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	11,180	16,915	17,271	
	物件費計	303,097	297,488	281,042	314,811	89%
	歳出計	314,277	314,403	298,313		
歳入	国庫支出金	14,500	12,774	13,300	14,060	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	142	132	155	
	歳入計	14,500	12,916	13,432	14,215	
	一般財源	299,777	301,487	267,610	300,596	

5. 総括的分析

総括的分析	妊娠届出数、出生数の減少により受診者数は減少しているが、妊娠期からの重層的支援により産後の支援についての満足度は概ね達成できている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	多胎を妊娠している妊婦は、身体的リスク、経済的負担が大きいとされているため、妊婦健康診査受診券を追加して配付する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	母子保健事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 母子保健担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち											
	実行計画名		14-1.母子の健康づくりの推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業		区分	一般事務事業							
事業期間	不明		年度	~	年度まで								
根拠法令等	母子保健法												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット	妊娠期から就学前の乳幼児											
	サブターゲット	妊娠期から就学前の乳幼児の保護者											
	ターゲットが抱える課題	成長過程で、発育、発達の助言や支援が必要になる場合がある。											
	ターゲットが抱える課題	身近な相談者がいないことにより、保護者が育児不安になるおそれがある。											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心して、子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。												
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	①母子健康手帳交付事業:妊娠届出時に「母子健康手帳」等を交付。 ②母子健康教育・相談事業:多様な形態で母子の健康や子育てに関する相談事業及び健康教育を実施。 ③母子訪問指導事業:委託による助産師の訪問と、保健センター保健師等による訪問を実施。 ④乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室):乳幼児健診等の結果、経過観察の必要な幼児と保護者を対象に集団での指導を実施。 ⑤産後ママ安心ケアサービス(枚方市産後ケア事業):家族からの支援が受けられない等で支援が必要な産後4か月未満の母子を対象に、市内産科医療機関と助産所でショートステイ(宿泊型)、デイサービス(日帰り型)を実施。利用に際しては、母子保健コーディネーターが妊産婦等の相談を行い、産後ケア事業等の必要な支援につなげる。 ⑥母子保健推進連絡会:母子保健施策の充実・強化及び母子保健施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、関係機関・団体と連絡会を実施。												
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				アウトプット (活動結果)	対象者が母子健康手帳を早期に受け取る。				インプット (活動)	母子健康手帳交付事業を実施する。			
---------	-----------------	--	--	--	--	------------------	---------------------	--	--	--	---------------	------------------	--	--	--

指標設定	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式:該当者÷アンケート回答者×100】				母子健康手帳発行数				妊娠届出数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	2,627	2,551	2,493	2,454	2,627	2,551	2,493	2,454
	実績	97.20				2,509				2,509			
	達成度	97%				96%				96%			
分析	概ね達成できている。				新型コロナウイルス感染症の影響か、妊娠届出数が見込みよりも少なかったため、母子健康手帳の発行数も少なくなった。				新型コロナウイルス感染症の影響か、妊娠届出者が見込みよりも少なかった。				

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				アウトプット (活動結果)	対象者が相談等を行う。				インプット (活動)	母子健康教育・相談事業を実施する。			
----------	-----------------	--	--	--	--	------------------	-------------	--	--	--	---------------	-------------------	--	--	--

指標設定②	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式:該当者÷アンケート回答者×100】				相談者数				乳幼児健康相談および個別発達相談の実施回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	6,225	6,225	6,225	6,225	341	341	341	341
	実績	97.20				1,804				242			
	達成度	97%				29%				71%			
分析	概ね達成できている。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため生涯学習市民センターが利用中止になり、乳幼児健康相談の実施回数が大幅に減少したため、相談者数が見込みよりも少なくなった。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため生涯学習市民センターが利用中止になり、乳幼児健康相談の実施回数が大幅に減少した。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が保健師等による訪問を受け、相談等ができる。				母子訪問指導事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				保健師等の訪問による、対象者の相談件数				母子訪問指導を実施する、助産師や保健師の人数			
			単位	%		単位	件		単位	人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	5,500	5,500	5,500	5,500	46	46	46	46
	実績	97.20				5,936				38			
	達成度	97%				108%				83%			
分析	概ね達成できている。				達成できた。				産育休により保健師数が減少した。				
ロジックモデル④		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が親子教室に参加する。				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)を実施する。			
指標設定④	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)実在籍数				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)を実施回数			
			単位	%		単位	人		単位	回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	184	184	184	184	225	225	225	225
	実績	97.20				85				149			
	達成度	97%				46%				66%			
分析	概ね達成できている。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乳幼児健康診査を延期又は中止したことにより、教室につながる児の数が減少した。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休室となった期間があり、回数が減少した。				
ロジックモデル⑤		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				必要な対象者が市内産科医療機関と助産所でショートステイ(宿泊型)、デイスサービス(日帰り型)を受けることができる。				産後ママ安心ケアサービスを実施する。			
指標設定⑤	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				産後ママ安心ケアサービス利用延件数				産後ママ安心ケアサービス実施機関数			
			単位	%		単位	件		単位	件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	200	200	200	200	8	8	8	8
	実績	97.20				239				8			
	達成度	97%				120%				100%			
分析	概ね達成できている。				達成できた。				達成できた。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				関係機関・団体との連携が図られる。				母子保健推進連絡会を開催する。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定 ⑥	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				参加機関数				実施回数			
		単位		%		単位		件		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	9	9	9	9	1	1	1	1
	実績	97.20				9				1			
	達成度	97%				100%				100%			
分析	概ね達成できている。				達成できた。				達成できた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	21.79
任期付職員	0.55
会計年度任用職員	9.97
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	136,419	147,812	176,109	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	26,481	23,678	25,664	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人件費計	162,900	171,490	201,773		
	物件費計	24,644	28,138	110,452	172,045	64%
	歳出計	187,544	199,628	312,225		
歳入	国庫支出金	8,482	9,449	53,204	48,863	
	府支出金	4,217	4,841	4,345	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	156	31	0	0	
	歳入計	12,855	14,321	57,549	48,863	
一般財源		174,689	185,307	52,903	123,182	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団で実施する事業の中止が相次ぎ、利用件数が減少した。コロナ禍であっても、必要な時に相談ができるよう、新たに個別対応やオンライン相談を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の動向をみながら適切な方法を選択し、事業を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	乳幼児健康診査事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 母子保健担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名		15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	1979 (S54) 年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	母子保健法						
関係補助金名称	新生児聴覚検査補助金			サンセット	2018 (H30) 年度	～	2021 (R3) 年度
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	各種健診の対象児 ①乳児一般健康診査(1歳未満)乳児後期健康診査(9か月～1歳未満)②4か月児健康診査(4～6か月未満)、1歳6か月児健康診査(1歳6か月～2歳未満)、2歳6か月児歯科健康診査(2歳6か月～3歳未満)、3歳6か月児健康診査(3歳6か月～4歳未満)③二次健診(発育・発達等経過観察が必要な児)④新生児聴覚検査(生後2日～1か月)
	サブターゲット	各種健診の対象児の保護者
	ターゲットが抱える課題	成長過程で、発育、発達の助言や支援が必要になる場合がある。
	ターゲットが抱える課題	児の成長や発達状況に応じた、育児や発達のアドバイスを必要としている。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。
---------------------------	-----------------------------------

事業概要	①個別健診(乳児一般健康診査、乳児後期健康診査) ②集団健診(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査)、集団健診未受診児に対して健診案内の再通知及び保健師による家庭訪問の実施 ③二次健診(健診A・B、眼科健診):①②の健診等でさらに専門的な診察が必要な児に、保健センターにて予約制(無料)で実施 ④新生児聴覚検査(平成30年10月から開始、令和2年度から、再検査となった児を対象として、再検査費用を助成)
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。	対象者が個別健診を受診する。	個別健診を実施する。

指標設定	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】	後期健診受診者数	後期健診受診券の発行
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 人	単位 件
	達成度	97%	96%	100%
	分析	コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、乳幼児健康診査を実施し、安心して子育てができることが、この地域での子育てしたい思いにつながった。	新型コロナウイルス感染症流行下でも、個別健診で受診可能なため、想定に近い受診者だった。	4か月児健康診査の際に、受診券を発行していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、個別健診に変更したため、郵送対応で発行した。
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。	対象者が集団健診を受診する。	集団健診を実施する。 (4か月児健康診査)

指標設定②	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】	乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数 ÷ 対象者数 × 100】	対象人数に応じた、実施回数。
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 回
	達成度	97.20	96%	8%
	分析	コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、乳幼児健康診査を実施し、安心して子育てができることが、この地域での子育てしたい思いにつながった。	個別健診への移行で、高い受診率を維持できた。	新型コロナウイルス感染症への不安軽減のため、集団健診を個別健診に変更し実施した。
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (1歳6か月児健康診査)			
指標設定 ③	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数 ÷ 対象者数 × 100】				対象人数に応じた、実施回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	37	40	40	40
	実績	97.20				94.90				49			
	達成度	97%				95%				132%			
分析	コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、乳幼児健康診査を実施し、安心して子育てができることが、この地域での子育てしたい思いにつながった。				実施回数の増加により、コロナ禍でも一定の受診者があった。				感染症予防対策を講じるため、実施回数を増やし1回あたりの定員を減らし、3密を避け実施した。				
ロジックモデル④		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (2歳6か月児歯科健康診査)			
指標設定 ④	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数 ÷ 対象者数 × 100】				対象人数に応じた、実施回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	36	41	41	41
	実績	97.20				0				0			
	達成度	97%				0%				0%			
分析	コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、乳幼児健康診査を実施し、安心して子育てができることが、この地域での子育てしたい思いにつながった。				歯科相談会では、1,099人の参加があったが、通常健診の半数以下の人数であった、集団健診の受容が高いことが伺え、次年度は集団健診を再開する。				法定健診の実施を優先し、2歳6か月児歯科健康診査は中止し、別に歯科相談会を実施した。				
ロジックモデル⑤		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (3歳6か月児健康診査)			
指標設定 ⑤	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数 ÷ 対象者数 × 100】				対象人数に応じた、実施回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	38	42	42	42
	実績	97.20				85.80				50			
	達成度	97%				86%				132%			
分析	コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、乳幼児健康診査を実施し、安心して子育てができることが、この地域での子育てしたい思いにつながった。				実施回数の増加により、コロナ禍でも一定の受診者があった。				感染症予防対策を講じるため、実施回数を増やし1回あたりの定員を減らし、3密を避け実施した。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が二次健診を受診する。				二次健診を実施する。			
指標設定⑥	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				受診率 【算出式: 受診者数 / 案内発送数 × 100】				対象人数に応じた、二次健診の実施回数			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	52	52	52	52
	実績	97.20				92.80				45			
	達成度	97%				93%				87%			
分析	コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、乳幼児健康診査を実施し、安心して子育てができることが、この地域での子育てしたい思いにつながった。				コロナによる受診控えもあったが、高めの受診率であった。				緊急事態宣言が発令された4月5月は一部中止したが、以降は個別対応で継続実施した。				
ロジックモデル⑦		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が新生児聴覚検査を受診する。				新生児聴覚検査を実施する。			
指標設定⑦	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				新生児聴覚検査受診者率 【算出式: 受診者数 / 出生数 × 100】				受診券配付数(母子健康手帳発行数)			
		単位		%		単位		%		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	2,857	2,781	2,723	2,454
	実績	97.20				91.70				2,734			
	達成度	97%				92%				96%			
分析	コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、乳幼児健康診査を実施し、安心して子育てができることが、この地域での子育てしたい思いにつながった。				再検査費用の助成を開始した影響もややあり、昨年度の受診率89%より増加した。				転入者も含め、受診券を発行した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	9.37
任期付職員	0.30
会計年度任用職員	7.29
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	76,171	94,613	75,999	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	23,413	20,293	21,081	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	99,584	114,906	97,080	
	物件費計	55,092	57,704	73,071	61,973	118%
	歳出計	154,676	172,610	170,151		
歳入	国庫支出金	0	0	11,023	11,076	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	11,023	11,076	
	一般財源	154,676	172,610	62,048	50,897	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症流行による、緊急事態宣言の発令に伴い、4月、5月は集団健診を中止した。また1回の健診での受診者数の制限により受診年齢の遅延が生じたが、医師・歯科医師派遣の調整事務を委託している枚方市医師会および、枚方市歯科医師会とも調整を図り、4か月児健康診査の個別化や、健診実施回数の増加などにより対応した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	4か月児健康診査および、2歳6か月児健康診査を集団健診で再開し、今後も感染症対策を講じた乳幼児健康診査を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	身体障害児及び長期療養児等療養指導事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 母子保健担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名		15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	児童福祉法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児				
	サブターゲット	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児の保護者				
	ターゲットが抱える課題	児の障害や疾病の状況によって生活上の課題(移動、食事、排泄等)や発達の課題が異なるため、個々にあわせた専門的かつ具体的な助言を必要としている。				
	ターゲットが抱える課題	保護者は介護や通院によって多忙なため、支援サービス等の情報が得られにくい。				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	適切な助言や情報提供を受けることによって、親子ともに安心・安全に生活を送ることができ、児の発育・発達が促される。					
事業概要	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児に対し、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持・増進及び福祉の向上を図る。 内容:医師、歯科医師、心理相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等による健康診査及び相談を、来所または家庭訪問により実施する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		親子ともに安心・安全に生活を送ることができ、児の発育・発達が促される。				対象者が健康診査や相談を利用する。				医師等専門職による健康診査及び相談を行う。			
指標設定	指標説明	療育相談利用者の満足度 【算出式:満足と回答した人÷利用者×100】				療育相談利用者数				療育相談実施回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	56	56	56	56
	実績	100				93				67			
	達成度	100%				93%				120%			
分析	利用案内および実施時には、利用者側の目的を明確化するよう努めている。保護者が質問・相談できることで、児と家族の安心・安全な生活と、児の成長発達促進につながっている。				新型コロナウイルス感染防止対策により、利用希望がありながらも中止した回が複数回ある。また、利用者の基礎疾患を考慮し、利用者の意向を尊重した。				新型コロナウイルス感染防止対策により、中止した回が複数回ある。しかし、利用者の利用希望と体調、相談時期等を考慮しながら、相談が実施できた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.37
任期付職員	0.05
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	20,752	18,760	11,138	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人員費計	20,752	18,760	11,138	
	物件費計	756	877	517	877	59%
	歳出計	21,508	19,637	11,655		
歳入	国庫支出金	452	451	452	451	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	452	451	452	451	
一般財源		21,056	19,186	65	426	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症防止対策による影響を大きく受けた。利用者の利用目的を明確にすることで、利用者の安心と安全な生活、成長発達促進につなげることができている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	感染予防対策と利用者の基礎疾患および体調を考慮しながらも、成長発達と進路を見越した案内を行うことが必要である。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域健康福祉室 母子保健担当運営事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 母子保健担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外										
	施策目標	99.施策体系外										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	2020(R2)年度			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット		~			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	地域健康福祉室 母子保健担当職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	各種事業を適正かつ市民のニーズに応えるべく実働する必要がある										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	母子保健担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。											
事業概要	課の運営業務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.49
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.06
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	16,034	11,883	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	4,067	6,422	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	22,170	18,305	
	物件費計	—	6,908	6,060	7,372	82%
	歳出計	—	29,078	24,365		
歳入	国庫支出金	—	170	0	1,408	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	170	0	1,408	
	一般財源	—	28,908	6,060	5,964	

5. 総括的分析

総括的分析	毎日の朝礼、夕礼、毎月の課内会議にて、職員間の情報共有を行い、母子保健担当の業務を円滑に実施できる体制を維持している。公用車の事故防止を目的に、安全運転について全職員に対し啓発を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	毎日の朝礼、夕礼、毎月の課内会議にて、職員間の情報共有を行い、母子保健担当の業務を円滑に実施できる体制を維持していく。保健センター所有の車両(8台)の点検整備等適正な管理および運転する職員の安全運転教育を実施する。